

⑥ 貝やハスノハカシパン、海藻といった海のもの、自然のもの以外にも海岸に打ち上げられたものがありますか？この海岸は漂着物が多い海岸として雑誌に取り上げられたこともある海岸です。私たち人間が作り出したものも沢山です。海外からやって来た物もあれば日本の物もあります。これらの漂着物はどのように海に流れ出しこの海岸にやって来たのでしょうか？

⑦ 砂浜は塩分が強いばかりでなく、激しい風や砂の移動の為植物にとっては大変住みにくい場所です。その最前線で頑張っているのがハマニンニクです。この根が広がり、ある程度砂の移動を押さえるようになると、アサガオに似たハマヒルガオ、小さなムギの穂に似たコウボウムギ、紫色の小花を穂につけるハマゴウ、タンポポのような黄色い花を咲かせるハマニガナなどが見られるようになります。これらは厳しい生存条件に耐えて生きていく為、いずれも背が低く葉や花を地面すれすれにつけています。



ハマニンニク



コウボウムギ



ハマニガナ

⑧ 耳を澄ましてみましょう！たくさんの鳥の声が聞こえてきます。セキレイやムクドリ、ウグイスなどです。なかでも「ギーギー」という鳴声が聞こえてきたときにはキジ(雉)に出会えるチャンスかもしれません。また地を這うように群生する松葉のような植物はハイネズ(這杜松)です。海岸の砂地に見られる常緑低木。幹はほふく性で多数分枝し、周囲に広がる。ネズとは、ネズミを刺すほど葉が硬いことに由来します。ハマゴウ



ハマヒルガオ



ハマゴウ

⑨ ここからはオートキャンプ場エリアです。



このキャンプ場は、区画サイトとフリーサイトがあり、120張り以上のテントを張ることができます。区画サイトにはバリアフリートイレもあります。普段は静かな場所ですが、ゴールデンウィークや夏休みに沢山のお客様で賑わいます。

⑩ この林では、浜辺とは違った植物が生きています。大きな木ではニセアカシア、5月下旬に甘い薫りで房状の白い花を咲かせます。小さな植物ではスミレ、コマツナギ、ノブドウなどがあります。これらの植物は、クロマツ林の適度に肥えた土と、木陰を好んで生育します。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行いましょう。

WALKING MAP

自然の小径  
浜辺で貝殻や漂着物を  
見つけよう 2Kmコース



休暇村能登千里浜

石川県羽咋市羽咋町オ70

TEL 0767-22-4121

① 本館周辺のご案内です。玄関前駐車場の植木はハマナスです。ハマナスはバラ科の植物で、初夏から真夏にかけて夏に紅紫色の大輪の花（まれに白花）を咲かせます。その後、花が落ちると真っ赤な実をつけます。実はジャムや乾燥させてお茶にすることもできます。ハマナスは徳仁親王妃雅子様のお印でもあります。

次に、芝生広場の周辺の植物はムクゲです。アオイ科の落葉低木。韓国の国花で、韓国内ではホテルの格付けなどの星の代わりに使用されているようです。夏から初秋に花を咲かせます。



ハマナス



ムクゲ

茎がつるになって、葉が3枚づつ付いている植物。ナワシロイチゴといひます。

イネの種を蒔く苗代を作る頃に果実が熟すので、この名がつけました。果実は橙色から暗紅色に熟し、食べられます。熟したものはアリも好物なので、アリとの競争です。



② この周辺の松の木は黒松です。その名のとおりに木肌が黒っぽいから黒松です。マツタケが生えるのは、残念ながら赤松の林です。この場所の黒松は、陸のほうに傾いていますが、これは冬の強い海風のせいで、この松が建物や、畑を浜砂から守ってくれます。

また、この周辺には季節によりクモの網がありますのでご注意下さい。気持ち悪いと思う方もいらっしゃると思いますが、よく見ると芸術的な形をしています。クモの網の中心から放射状に張られた糸を縦糸、縦糸に対して直角に同心円状に張られた糸を横糸といひます。

横糸は実際には同心円ではなく、螺旋状に張られています。網の中で粘り気があるのは横糸だけです。複雑な構造であるにも関わらず非常に短時間で生み出され、張り替える場合にもそれを丸めて食べ新たな糸としてリサイクルされているそうです。



③④ 波打ち際を歩いてみましょう。いろいろな貝が落ちていますが、その中に一風変わった貝があります。貝の表面にヒトデのような、星のような模様が入っています。実はこれ、貝ではなくウニの仲間。棘皮(きょくひ)動物、ウニ類に属するそうです。名前は「ハスノハカシパン」。カシパンは、その形が菓子のカシパンに似ていることからその名がつけられ、外国では「サンド・ダラー(砂浜の1ドル銀貨)」などと言われるそうです。



⑤ 砂浜を歩いて見てどうですか？他の地域の海の砂との違いを感じませんか？この海岸の砂は粒が非常に細かく、海水や雨が染み込むと固くしまります。世界に3ヶ所しかない、砂浜でドライブができる海岸「なぎさドライウェイ」は、この砂のお陰で誕生しました。休暇村前の海岸にも車が走っていますが時々まってしまう車を見かけますので、ここでのドライブはお薦めしません。千里浜海岸と比べ人の少ないこの海岸の週末は、ラジコンの飛行機やヘリコプターで遊ぶ人や、固い砂地を利用しグライダーに乗り飛び立つ人を見かけることもあります。

